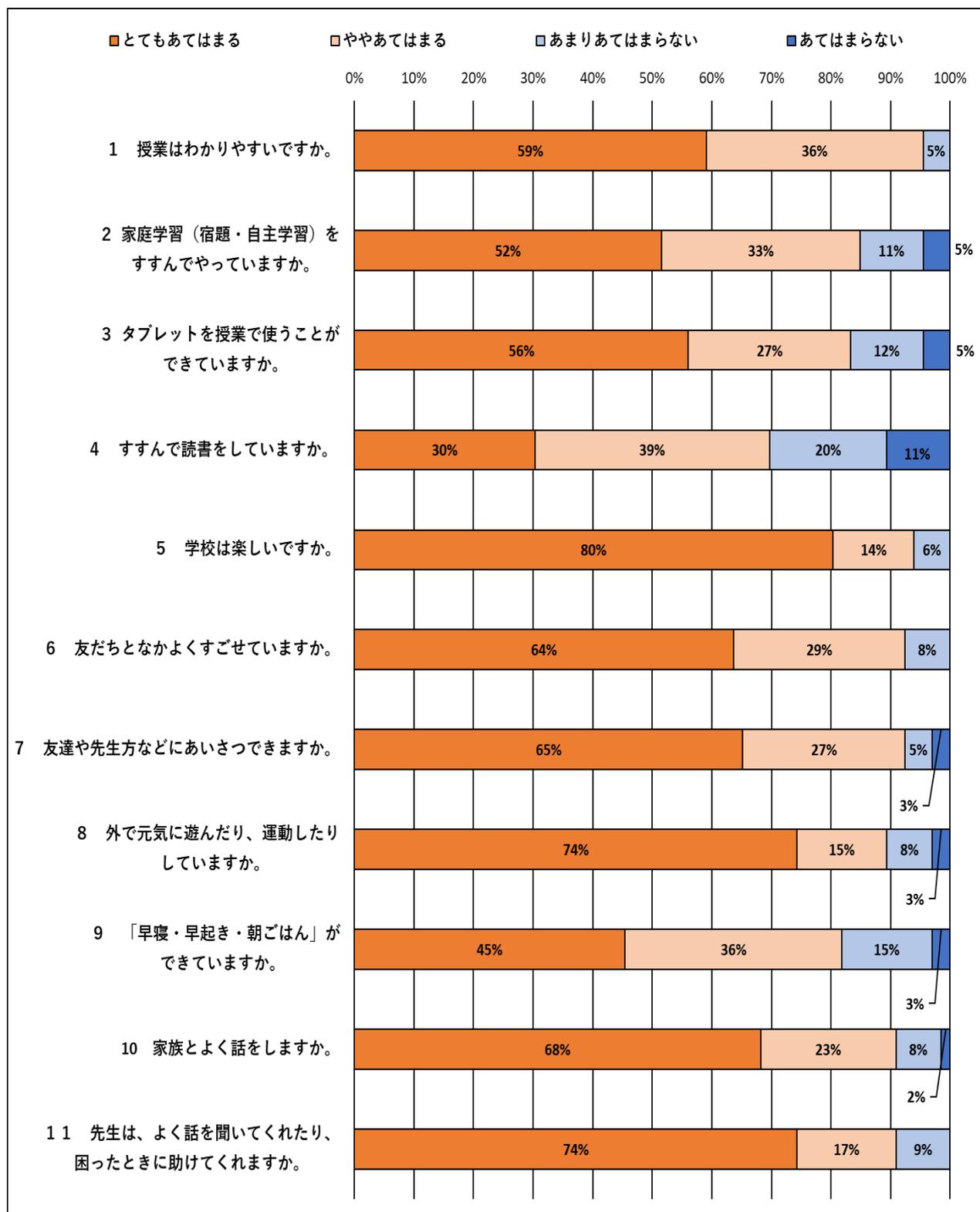
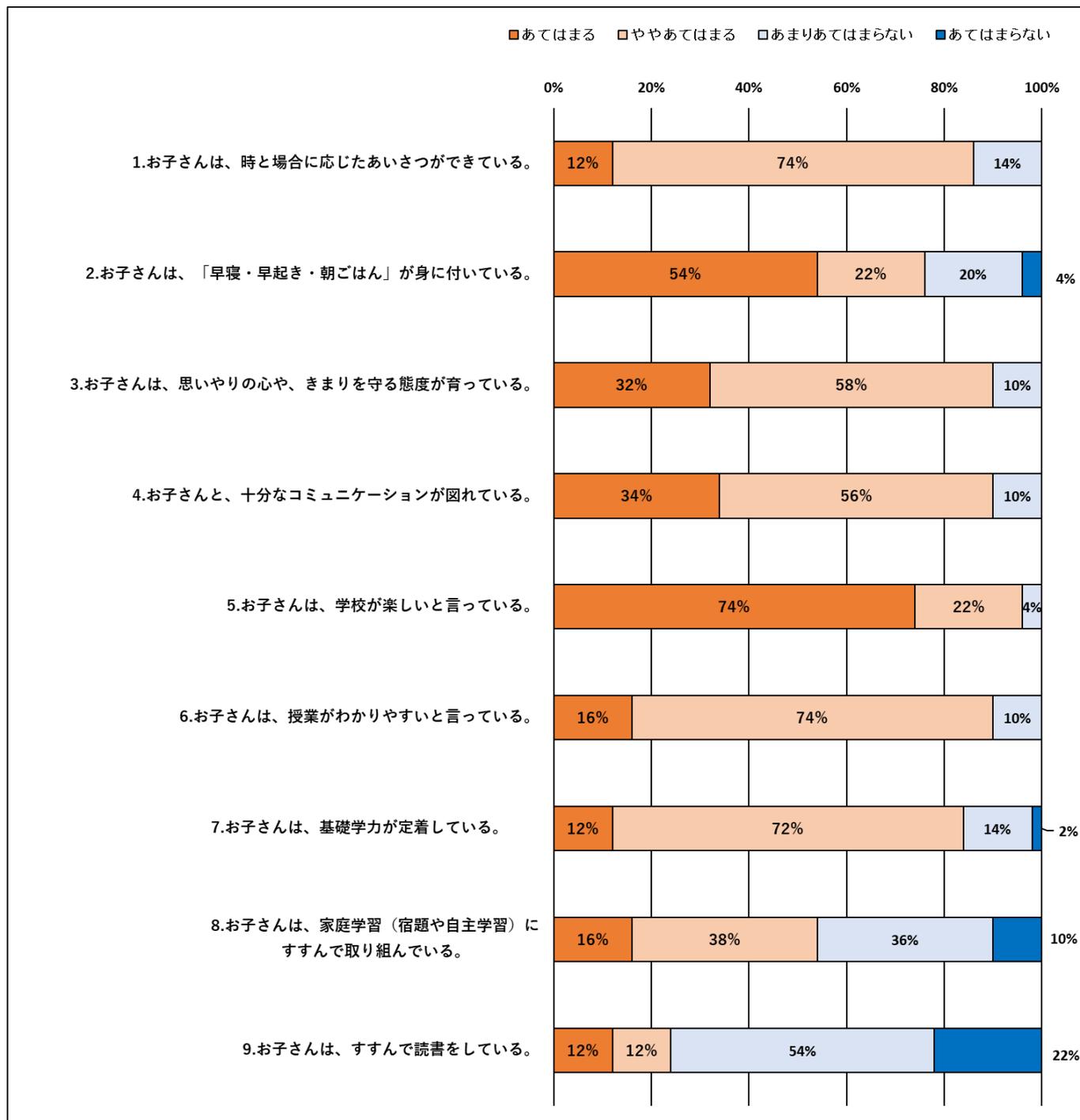


令和7年度 学校生活アンケート（児童）



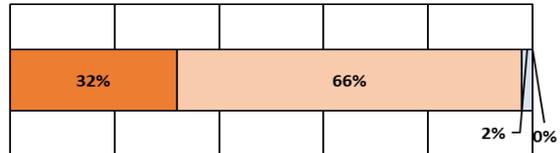
令和7年度 学校評価アンケート（保護者）



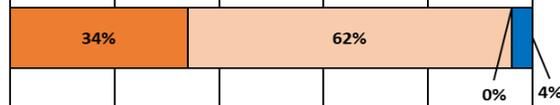
■あてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない ■あてはまらない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

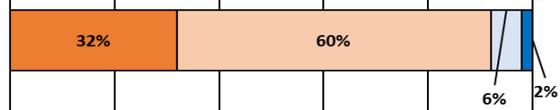
10.学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(4月PTA)



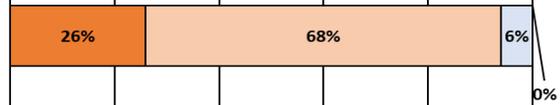
11.学校は、お子さんの学力や個性に応じて指導をしている。



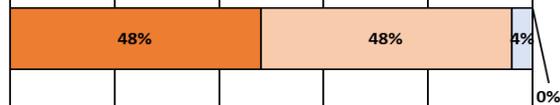
12.学校は、体育や業間活動を通して運動量を確保し、発達段階や個人差に応じた体力の向上を図っている。



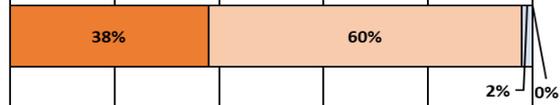
13.学校は、ICT機器を効果的に活用した授業を行っている。



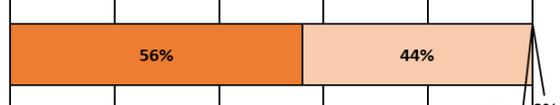
14.学校は、読書への意欲を高めたり、読書環境を整えたりしている。



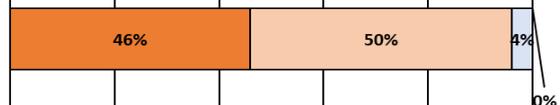
15.学校は、施設・設備をよく整備し、学習環境の向上に努めている。



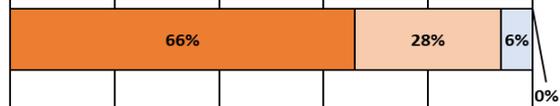
16.学校は、避難訓練や防犯訓練、情報モラル教育等児童の安全について学ぶ機会を設け、安心・安全な学校作りに努めている。



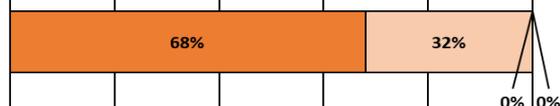
17.学校は、児童アンケートや教育相談を通して、子どもの心に寄り添い、よりよい人間関係作りに努力している。



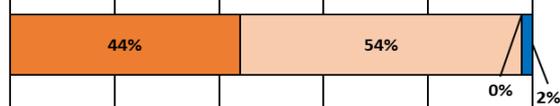
18.学校は、保護者からの連絡や相談に丁寧・誠実に対応している。



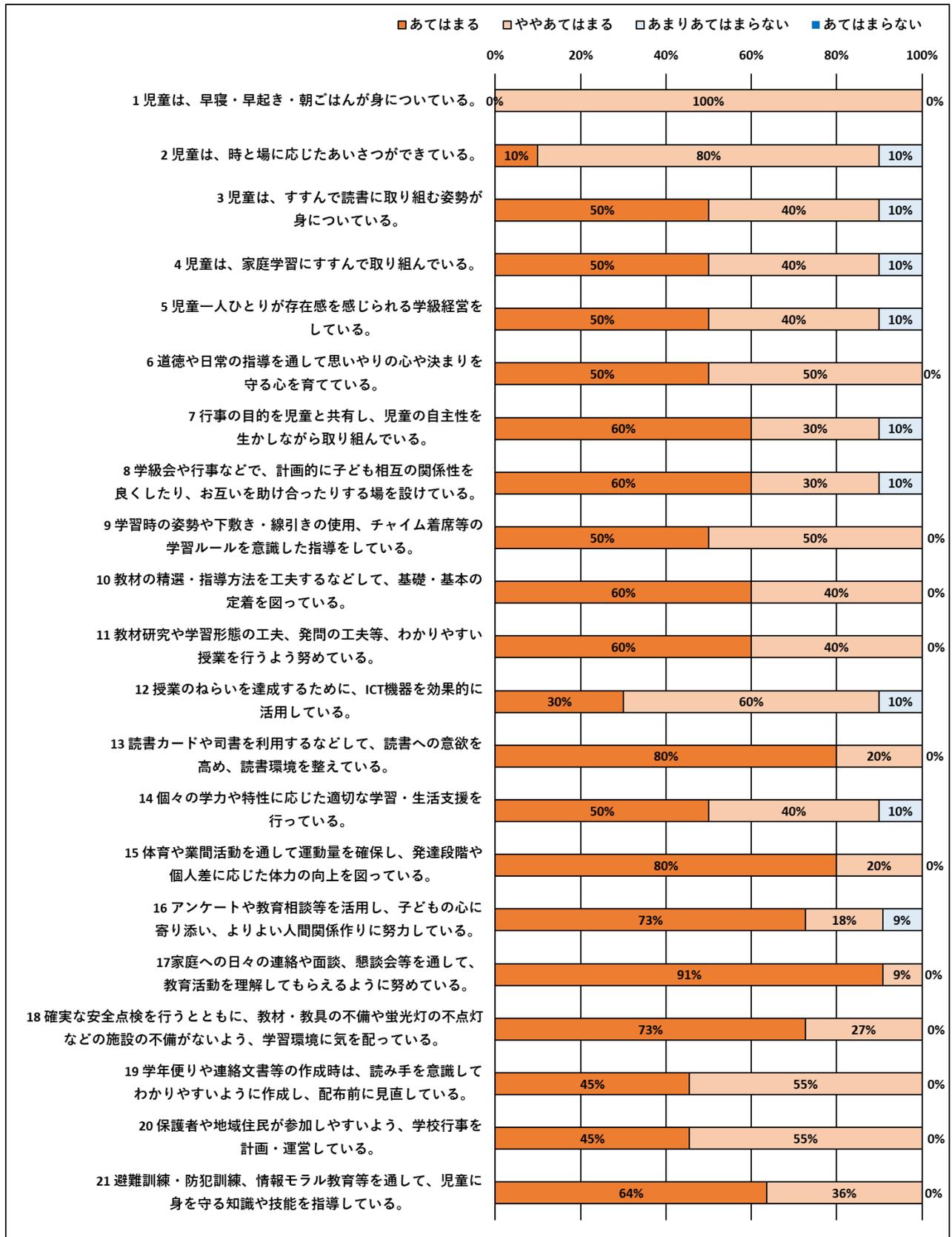
19.学校は、保護者、地域住民と協力して、学校行事を計画し、運営している。



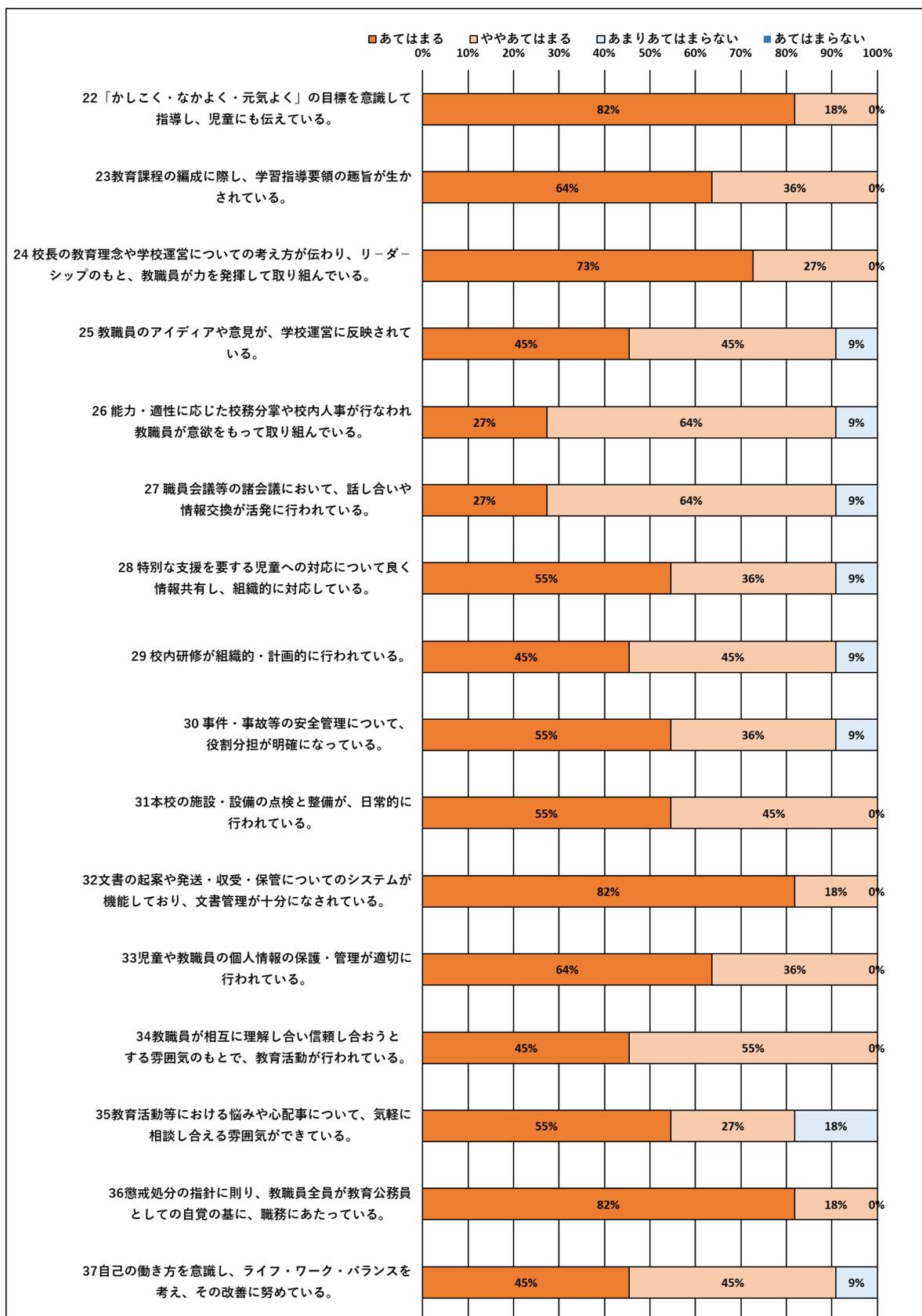
20.学校から配信される各種たより・文書・アンケート等は、わかりやすく答えやすい。



HP 令和7年度 学校評価アンケート（職員） ～教育活動について～



令和7年度 学校評価アンケート（職員） ～学校経営について～



令和7年度 学校関係者評価

旭市立中和小学校

I 学校教育目標

「かしこく なかよく 元気よく ～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～」

II 重点化された具体的な目標

- ◎ 学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子
- ふるさと中和、地域に信頼される開かれた学校づくり
児童が地域に関わる機会を増やす。

1 学力の向上【かしこく】

- (1) 多様な学びの機会を提供できる授業力の向上
- (2) 学習習慣の確立

2 心の教育の充実【なかよく】

- (1) 福祉教育・道徳教育の充実
- (2) 体験活動の充実

3 活力ある学校【元気よく】

- (1) 安心・安全な学級づくり、学校づくり
- (2) 「健康・安全・食」に関する指導の推進

◎ 信頼される教職員を目指して

- (1) モラルアップ委員会の効果的な運営と不祥事根絶研修
- (2) 業務改善と教職員の意識改革

III 学校関係者評価委員

地域コーディネーター	宮崎 豊 氏
主任児童委員	石田 美智子氏
JAちばみどりひかた支店長	菅谷 光男 氏
P T A会長	藤崎 靖治 氏
中和地区区長会代表	菅谷圭一郎 氏
中和地区社会福祉協議会代表	玉井 正博 氏

IV 自己評価資料・基準

1 評価資料
○職員による学校運営評価（自己評価）
○児童アンケート ○保護者アンケート
2 自己評価基準
A 肯定的評価90%以上 ⇒ 満足できる
B 肯定的評価80%～89% ⇒ 概ね満足できる
C 肯定的評価70%～79% ⇒ やや努力が必要である
D 肯定的評価69%以下 ⇒ 努力が必要である
3 学校関係者評価の評価基準
A 適切な評価である。
B ほぼ適切な評価である。
C やや不適切な評価である。
D 不適切な評価である。

昨年度と比較し、黄色が上昇 水色が下降

V 自己評価結果から

分野	資料	評価項目	評価の指標 (%)	自己評価	考察・改善に向けた取組	学校関係者評価	事前評価						
							1	2	3	4	5	6	
学校運営・教育課程	職	校長の教育理念や学校運営についての考え方が伝わり、リーダーシップのもと、教職員が力を発揮して取り組んでいる。	100.0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題を明確にした上で、経営方針を打ち出し、それをもとに学校運営に取り組んできた。職員は、課題や方向性を理解した上で、学級経営・教科経営・各校務分掌に取り組んでいる。全職員の参画による教育活動の創造は、学校全体が同じベクトルに向かって教育活動にあたっていくことだと考えている。 ・再編まで残り1年、教育的なねらいに重点を置いて活動を展開すると同時に、中和らしい温かみのある経営、中和の強みを生かした学校経営を継続していきたい。 ・児童の「学校は楽しい」の指標を更に高めていきたい。児童が活躍でき、自己肯定感・自己有用感を高めることができる教育活動を工夫し、展開していきたい。 ・児童数の減少、学校再編は、目の前である。中和小学校は子供たちに確かな学びを保障できるように、どんな環境になってもしっかり活躍できるように、学校運営を進めていきたい。 	A	目標・方針	A	B	A	A	A	A
	職	「かしこく・なかよく・元気よく」の目標を意識して指導し、児童にも伝えている。	100.0	A			学校参画	A	B	A	A	B	B
	児	学校は楽しいですか。	94.0	A			教育課程	A	B	A	A	B	B
	保	お子さんは学校が楽しいと言っていますか。	96.0	A									
	保	学校は教育方針をわかりやすく伝えてありますか。	98.0	A									
	職	教職員のアイデアや意見が学校運営に反映されている。	90.0	A									
意見など		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しい」という項目の評価が高く、安定した学校運営がなされていることがよくわかる。統合に不安を持つ児童・保護者がいると思うので、新しい学校への希望がふくらんでいくようお願いしたい。 ・学校を訪問すると、いつも柔らかい雰囲気や優しい気持ちになります。児童も保護者も、同じように感じているのではないのでしょうか。 											
かしこく（学力向上）	職	資料や補助教材、タブレット等のICT機器などを活用してわかりやすい授業を行っている。	90.0	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット等ICT機器を用いての授業実践(市のICT支援員の協力のもと)は、全クラス実施している。学び続ける教師を目指し、教師個々の授業力向上を図ってきたい。 ・学力の向上は学校の使命である。この点は改善が必要である。今年度は基礎基本の定着を目指して「漢字・計算チャレンジ」を、年間3回、検定方式で実施し、基礎基本の定着を図った。 ・「家庭学習の手引き」「輝く中和っ子～学習編～」の活用と家庭学習強化月間の設定、年間3回の学習時間調査など、家庭学習の定着と学習規律の基本を統一するための取組を実施し、一定の成果を上げている。 ・すべての学習の元となる読書活動を推進した。読書を頑張った人に贈る読書賞はのべ226枚発行(↓)、児童平均3.4枚受賞。また、読書の質を高めるために「学年課題図書選定」「スーパー読書賞授与」を行った。スーパー読書賞授与者は現在41名。今後も読書活動を推進していきたい。 	A	授業力	A	B	A	A	A	A
	職	校内研修が組織的・計画的に行われている。	90.0	A			基礎学力定着	A	B	B	B	B	
	児	授業はわかりやすいですか。	95.5	A			家庭学習	B	C	B	B	B	
	児	家庭学習（自主学習）をしていますか。	85.0	B									
	保	学校はお子さんの学力や個性に応じて指導をしていますか。	96.0	A									
	保	お子さんは基礎学力が定着していると思いますか。	84.0	B									
意見など		<ul style="list-style-type: none"> ・読書の環境は整っているのに、児童・保護者とも読書への評価が低いのはなぜか。家庭学習への評価も同様に低下してきている。スマホの使い方等の原因を追究して、対応をお願いしたい。 ・わかりやすい授業を目指して先生方が努力されていることがわかりました。家庭学習については保護者の認識が低かったため、実際には児童はそれほど取り組んでいないのではないかと感じました。 ・家庭学習強化週間や中和小検定など学力向上の取組はよいと思います。しかし家庭では、「親がやりなさいと言うからやる。」という感じで、受け身なところがあり、自ら進んでやるところまでは至っていません。学力の低下も気になります。 											

なかよく (心の教育の充実)	職	道徳や日常の指導を通して思いやりの心や決まりを守る心を育てている。	100.0	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素直で優しく、勤勉な中和っ子の良さは、これまで学校・保護者・地域が一体となって育ててきた「中和小学校の強み」であると考え。しかしながら、元気がない、挨拶ができない、活気がない、といった現状を嘆く声も参考にしながら、今日の子供たちを大切にしていきたいと考える。 ・教育相談や学校生活アンケートからは、友達関係に悩んでいる児童がいること、友達との関わり方やトラブルの解決方法がわからないといった状況も見える。市や県のSCの力を借りながら、全員面談の機会を設けている。 ・中和小では、今年も福祉教育を中心に「花いっぱい活動」「歌声(4～6年合唱)活動」「地域連携(中和地区福祉協議会との交流)」「白寿園訪問」など、地域の方々、高校生など、人と関わる活動や体験を数多く実施してきた。「縦割り活動」「全校ランチルーム給食」「あいさつ運動」など、校内での活動も行い、学年を超えた互いを思いやる気持ち、あたたかな心や児童の心を耕し、活躍できる場を意図的に設定した。来年度、地域との交流は引き続き行い、『ありがとう中和』恩返しキャンペーンを展開していく。 	思いやり きまり	A	B	A	B	B	A
	職	学級会や行事などで、計画的に子ども相互の関係を良くしたり、お互いを助け合ったりする場を設けている。	90.0	A			基本的 生活習 慣	A	B	A	B	B	B
	児	友達や先生などに挨拶できますか。	92.0	A			挨拶	A	B	B	B	A	B
	児	友達と仲良く過ごせますか。	92.0	A									
	保	お子さんは思いやりの心やきまりを守る態度が育っていると思いますか。	90.0	A									
	保	学校は、児童アンケートや教育相談を通して、子どもの心に寄り添い、よりよい人間関係づくりに努力していますか。	96.0	A									
意見 など	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで挨拶する子が増えて、明るい雰囲気になるといいのかなあ と思います。暗いわけではありませんが、今ひとつ覇気がないのかなあ。 ・現在の中学生が、小学校高学年だった頃、とても親切で感動したのを覚えています。保護者にも気さくに話しかけ挨拶してくれたし、低学年にもとても優しくかったです。今の中学年・高学年の子たちにも周りを見て気を利かせ、新設にできる人になってもらいたいです。 												
元気な 学校・ 体力 向上・ 特別 支援	職	児童一人ひとりが存在感を感じられる学級経営をしている。	90.0	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の学校評価から、今年度、課題として力を入れた項目が「運動」に関してである。 まずは、子供たちが運動に楽しく取り組めるよう、「体育」の授業研究及び実践を通して、職員の指導力向上を図った。また、子供たちが「運動に親しむ機会」を多く持つよう「全校みんなで遊ぼうDAY」の設定をし、教員も一緒に遊びまくる時間を持ったり、縦割り活動で「長縄跳び」にチャレンジしたりと、『体を動かすことが楽しい』経験を多く積んだ。 その結果、児童、保護者、職員において行動変容がみられたのではないかと。 ・「早寝・早起き」の項目についても、わずかではあるが、数値が上昇した。引き続き、子供たちには当事者意識を持たせ、学校と家庭が協力して、問題に向き合っていけるようにしたい。 ・県・市のスクールカウンセラーとの連携や旭市教育委員会の指導を仰ぎながら、困り感をもつ児童への対応、教育相談活動を実施した。 ・全校児童67名に対し、特別支援在籍児童が9名おり、個別または少人数で教師が対応せねばならないことが年々増加している。また、保護者と医療機関、福祉機関との連携を取りながらその指導に当たっている。 	安心 安全	A	A	A	B	A	A
	職	特別な支援を要する児童への対応について良く情報共有し、組織的に対応している。	91.0	A			特別 支援	A	B	A	A	B	B
	職	体育や業間活動を通して運動量を確保し、発達段階や個人差に応じた体力の向上を図っている。	100.0	A			体力 向上	A	B	A	A	B	A
	児	外で元気に遊んだり、運動したりしていますか。	89.0	B									
	児	早寝・早起きしていますか。	81.0	B									
	保	学校は施設設備を良く整備し、学習環境の向上に努めていますか。	98.0	A									
保	体育や業間活動を通して運動量を確保し、発達段階や個人差に応じた体力の向上を図っている。	92.0	A										
意見 など	<ul style="list-style-type: none"> ・学級でいじわるをしてくる子がいると時々報告があります。いろいろな子がいるので、困ったときにどう自分で対応していくべきか考えるよい練習だよ、といつも話しています。担任の先生は、いつも話を聴いてくださり、対応してくださり、感謝しています。 ・人数の少ない中での体育の授業のおかげか、1人1人の実技の練習時間がたくさん確保され、先生方の指導も行き届いているように感じます。我が家では、マット、鉄棒、跳び箱もたくさんできるようになったと報告してくれます。 												
不祥 事根 絶・ 信 頼 さ れ る 学 校 保 護 者 地 域 と の 連 携	職	保護者や地域住民が参加しやすいよう、学校行事を計画したり行事に協力したりしている。	100.0	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域・保護者からの信頼」は学校経営の土台である。今年も、「地域合同運動会」を行い、信頼と関係性を深めた。多くの参観者、競技参加者により、笑顔あふれる運動会となった。また、すずがね祭り・6年生を送る会などの行事も実施できた。 福祉教育の推進を図る上で、「中和地区福祉協議会との交流」も継続できた。来年度は、いよいよ1つ1つの行事が最後となっていく。中和地区のシンボルとして中和地区の教育活動の核として、地域とともに幕を閉じたいと考える。 ・150周年、閉校記念事業準備委員会を立ち上げ、現在までに3回の会議をもった。 ・職員は教育公務員としての自覚を持ち、不祥事根絶、職場のモラルアップのための研修に計画的に取り組んできた。今後とも、研修を計画的に実施するとともに、職場の人間関係作りを大切にしたい学校経営を進めたい。 	不祥 事根 絶	A	A	A	A	B	A
	職	学年便りや連絡文書等の作成時は、読み手を意識してわかりやすいように作成し、配布前に見直している。	100.0	A			開か れた 学 校	A	A	A	A	B	A
	職	保護者や地域住民が参加しやすいよう、学校行事を計画・運営している。	100.0	A			保護 者 地 域 連 携	A	A	A	A	B	A
	保	学校は、保護者、地域住民と協力して、学校行事を計画し、運営している。	100.0	A									
	職	懲戒処分の指針に則り、教職員全員が教育公務員としての自覚の基に、職務にあたっている。	100.0	A									
意見 など	<ul style="list-style-type: none"> ・中和小の子はとても素直ですので、わかりやすく指導していただければ伸びていくし、スポンジのように吸収していくと思います。(かいがいぶりすぎでしょうか?)先生方の丁寧な御指導に期待しております。残り1年、よろしく願いいたします。 ・中和小は他の学校と比べても、特に学校と保護者との連携がしっかりされており、話しやすい印象です。いつも子供たちのために尽力されてくださり、感謝申し上げます。 												